

広域情報：中東地域における緊張の高まりに関する注意喚起

【ポイント】

- イランの革命ガード高官等の殺害を受け、中東地域各国で不測の事態が発生するおそれがあります。
- 最新情報を収集する等、自らの安全確保に努めてください。

1 1月3日、イランのソレイマニ革命ガード・コッツ部隊司令官、ムハンディス・イラク人民動員部隊副機構長他がイラクのバグダッド空港付近で米国の空爆により殺害されたことを受け、イラン政府は米国を強く非難するとともに、報復を警告しています。

2 当面の間、中東地域においては不測の事態が発生するおそれがあることから、複数の情報源から最新情報を収集するなど、十分注意してください。また、仮に急速な情勢の変化が生じた場合には、すみやかに安全な地域に退避するなど自らの安全確保に努めてください。さらに、携帯電話等の通信手段の確保にも努めてください。

3 海外渡航の際には、万一来に備え、家族、友人、職場等に日程や渡航先での連絡先を伝えておくようにしてください。3か月以上滞在される方は、現地在外公館が緊急連絡先を確認できるよう必ず在留届を提出してください。3か月未満の旅行や出張などの際には、渡航先の最新の安全情報や、緊急時の現地在外公館からの連絡を受け取ることができるよう外務省海外旅行登録「たびレジ」に登録してください。

(<https://www.ezairyu.mofa.go.jp/index.html>)

(問い合わせ窓口)

○外務省領事サービスセンター

住所：東京都千代田区霞が関 2-2-1

電話：(代表) 03-3580-3311 (内線) 2902, 2903

(外務省内関係課室連絡先)

○領事局海外邦人安全課(テロ・誘拐関連を除く) (内線) 5139

○領事局邦人テロ対策室(テロ・誘拐関連) (内線) 3047

○海外安全ホームページ：

<http://www.anzen.mofa.go.jp/> (PC版・スマートフォン版)

<http://www.anzen.mofa.go.jp/m/mbtop.html> (携帯版)